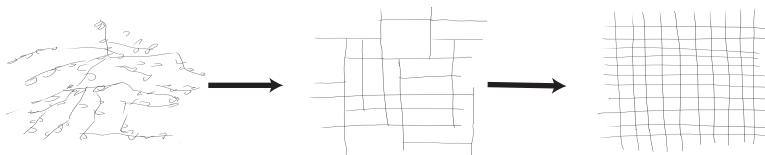


共存する図書館

Design

1. 屋根

木漏れ日から屋根の形になるダイアグラム

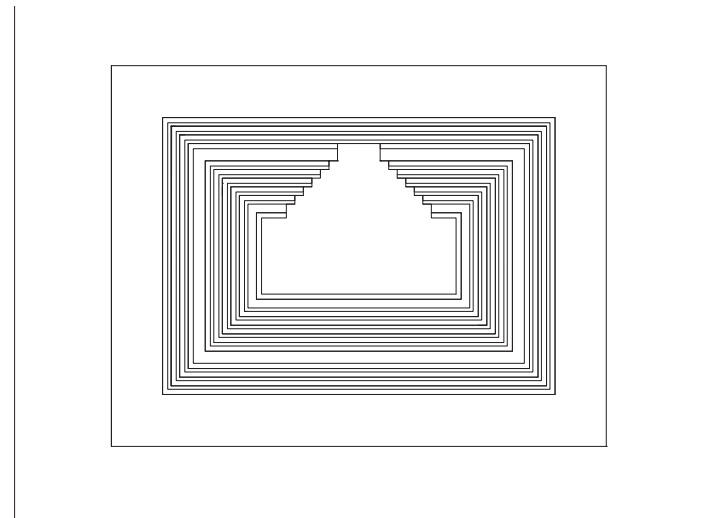


②

自然とは何だろうかと考えて、私は光を思い浮かべた。
光によって、自然が生まれ私たちを含む生物が生まれてきた。
植物目線からいえば光は大切な栄養であるが、人間から見ると精神的な意味を含み、古くから光をどうとらえていたかが建築にも反映されている。
私たち人間は自然と共に光の恩恵によって生き続けてきた、そんな感情が感じられるような空間を考え、人と光が共存したデザインにした。

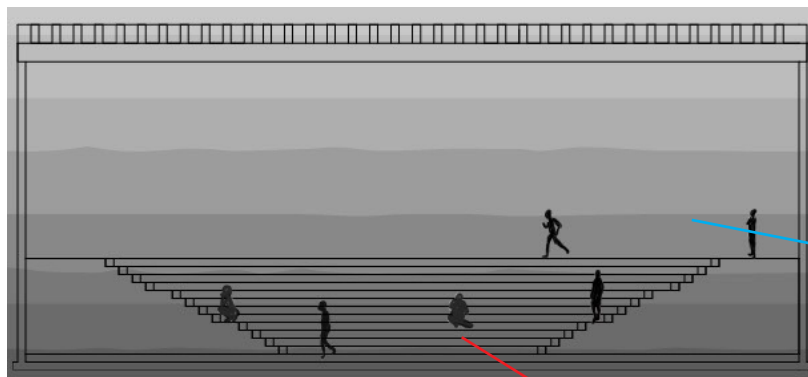
2. 空間

本棚を階段状にすることで自然にある地形のような空間を考案した。



Concept

①グランドレベルな建築という題に対して、私は図書館に落とし込もうと試みました。
今ある図書館は多くが、等間隔に同じ大きさの棚に押し込まれており、ある一定の規則性のある空間におかれている。
階ごとに、場所ごとに本棚に入っている本のジャンルが変わっていて、その区別の仕方は単純である。
単純であるが故に本を探す過程が単純である。
もっと本を見つけるまでの過程に森の中、または洞窟の中でさまようような感覚があってもいいのではないか、それを空間で表現した



断面透視図

grand level 別における明るさ具合

→空間の多様化。好きな明るさで読書を楽しむ。

動的空間

臨場感をもたらす景色と回遊性があるスペースは
人々にポジティブなエネルギーを与える。

静的空間

人の視線を感じないくらいの暗さがあり、
リラックスして読書に集中できる。



洞窟のような入口
各階段の層にリズム館のあるずれが
造形的空間を生み出す。



木漏れ日を作る光の表現は静寂な空間を生み出す。